



九条の樹

94号
2022年4月発行



発行：東久留米「九条の会」 連絡先：Tel 042-473-9489（鈴木）

http://higashikurume-9.net/ メール：higashikurume9j@gmail.com

ロシアはウクライナから今すぐ撤退を

毎週木曜日午後5時から6時、西口で宣伝署名行動

選挙で変えよう東久留米市民連合
とくらしを守る革新東久留米の会
（革新懇）は、毎週木曜日夕方5時
から6時まで、「憲法改悪を許さな
い全国署名」と、ロシアのウクライ
ナ侵略に抗議する宣伝行動を行って
います。

プーチン大統領は2月21日、東部
2州を独立国として勝手に承認し、
2月24日にその2州の要請による集
団的自衛権を口実として武力侵攻を
開始しました。東部2州だけでなく
ウクライナ全土を攻撃し、多数の子
どもや民間人が犠牲となっておりま
す。「主権の尊重」「領土の保全」「武
力行使の禁止」を義務づけた国連憲
章に違反する侵略戦争は直ちにやめ
させなければなりません。

また、自民党や維新の会はウクラ
イナの戦火を利用して、核共有議論
や改憲を主張していますが、平和を
願う世論を曲げようとするもので、
到底許されるものではありません。

ロシアが侵略を開始した2月24日
は木曜日の宣伝日であったために、
すぐ、ロシアは攻撃やめろ！の宣伝
を行いました。3月3日は新日本婦
人の会東久留米支部の提唱で午後
4時からの宣伝行動
に合流。35人が参加
しました。3月10日
以降は二本松はじめ
さんもギターをもつ
て参加し、「戦争反
対！」「ウクライナ
からいまずぐ出てい
け」とうたい、行動
を盛り上げました。

3月11日は、東日
本大震災11年目メモ
リアルデーで、祈り
のキャンドルナイト
に20数名が参加し、
ロシアは原発攻撃を
中止せよ、ウクライ
ナから撤退せよの宣

伝を行いました。

3月17日からは、新婦人の皆さん
によるウクライナ支援募金も始め、
1万4千円が寄せられました。10人
が参加。3月24日は、「ロシアは今
すぐ撤退せよ！」の宣伝と改憲反対
署名、ウクライナ支援募金の行動を
行いました。4・10永田浩三氏のマ
スコミ問題講演会チラシ、4・17戦



争反対パレードのチラ
シ、そして、東久留米
市議会の「ロシアによ
るウクライナ侵攻に強
く抗議する決議」を印
刷したビラをセットに
して100部配布、外
国人やサラリーマンの
署名や募金もありまし
た。12人が参加しまし
た。また、市内在住の
グループ「スペース・
ガタゴト」を中心に有
志が集まり、一日おき
に午後2時から3時ま
で東久留米駅西口で抗
議行動をしています。

（松元忠篤・小山在住）

憲法を守る運動から学ぶ

「戦後史の中の安倍改憲」を読む②

憲法学者の渡辺治さん（一橋大学名誉教授）の著書『戦後史の中の安倍改憲』を読むシリーズの2回目です。

戦後史をふり返る

「憲法九条は時に傷つき穴をあけられ、あるいは逆に新たな壁を作ることの繰り返し、軍事化の進行を遅らせ、阻む大きな力を發揮し続けた」「九条がこうした軍事大国化の歯止めとなったのは、九条それ自体から自動的に導かれた結果ではなく、その改変に反対してきた国民の運動と野党のがんばりの結果にほかならない」これが本書のテーマです。

1955年総選挙で社会党が躍進して3分の1以上を確保したため鳩山首相による9

条改憲は失敗します。自民党

は憲法の条文そのものを変え「明文改憲」から方向を変えて「解釈改憲」をねらいま

す。「自衛隊は憲法で否定された「戦力」ではないから合憲だ」という解釈です。政府は**自衛**

権行使の要件として

①我が国に対する急迫不正の侵害、すなわち武力攻撃が発生したこと。

②排除するに他の方法がないこと。

③必要最小限度の実力行使にとどまるべきこと。

社会党議員らの追及に対して作られたこうした政府解釈が、のちに自衛隊の活動を制約する根拠として政府を苦しめることとなります。

内閣法制局は「自衛のため

であっても敵の武力攻撃を受けて初めて反撃できるという制限がある」という解釈をしています。

60年安保闘争

政府は改憲をあきらめたわけではありませんでした。鳩山のと改憲を安保条約改定と抱き合わせで実現しようとしたのが岸内閣です。結論から言えば安保闘争によって改憲は挫折しその後憲法が定着する結果となります。

日米安保条約改定は、一方でアメリカの日本防衛義務を明示し、米軍の基地使用を安定的に保障、日本国内の米軍への攻撃に日米共同対処を義務付け軍事同盟の側面を強化するものでした。これをいっそう対等平等なものにするためとして9条を改正して集団的自衛権行使可能な軍隊とする段取りが岸の予定でした。これに対して国民の中から「戦争が終わってまだ15年しか

たっていないのに、アメリカに追隨して戦争するのか」という危惧が広がります。

安保闘争の盛り上がり

安保闘争は57年の教員の勤務評定反対運動から始まります。愛媛県を皮切りに地域の父母をふくむ共闘組織が全国にできていきます。これが安保闘争の地域共闘に結びついていきます。

58年警察官職務執行法改正反対国民会議も経験します。

安保の共闘組織は59年3月社会党、共産党、総評（労働組合全国センター組織）でできます。地域の安保共闘組織はこの間750から1200に増えます。またこの時期三井三池炭鉱合理化反対の三池争議も全国的な支援活動も合流していきます。

安保改定案が60年5月強行採決されると26日には国会前抗議行動に17万5千人が参加しました。学者文化人も多く

参加しました。

6月4日には総評がゼネストを行います。これには総評360万人、中立系労組100万人が参加しました。15日には第2波ゼネスト。全学連や国鉄も参加し合計560万人が参加しました。18日には国会前に33万人が参加し、国会突入で樺美智子さんが死亡します。

岸総理はこれにあわてて自衛隊に治安出動を要請しましたが当時の赤城防衛大臣が出動を拒否します。

岸首相は安保条約の批准を待つて内閣総辞職します。同時に憲法改正しようという目論見は失敗します。

安保の教訓と改憲阻止

ここまで運動が盛り上がったことを渡辺さんはまとめて

①戦後初の社共共闘だった。
②地域の共闘組織に支えられ国民的広がりを持った。2千団体。組織の中心は地域の労働

組、共産党の地域活動だった。

③労組は公共系と民間大手企業労組も企業に取り込まれなかった。

安保闘争で安保改定は阻止できなかったが岸の改憲攻勢を挫折に追い込んだ意味は大きいとしています。

30年間の明文改憲断念

中曽根元首相は安保闘争を振り返って「これだけ(改憲を)一生懸命やっているのに国民

はどうしてわかってくれないのか、そう思いました。しかし、じっくり反省してみても、市民社会の岩盤ができたということだと思いました。…非常に苦勞してようやく平和と自由が得られたわけで、この平和と自由は絶対手放さないという意思が戦後の日本人の中にあつた」と言っています。

岸のあとを継いだ池田首相は63年「任期中に改憲はしない」と言いました。復古政策では自民党自身が危機になる

と判断しました。自民党の改憲派も分裂し9条には手を付けないという代表は中曽根でした。

アメリカも安保闘争には衝撃を受けました。アメリカ大統領の初めての来日が国民の反対にあつてフィリピンから引き返しました。6月に韓国では4月革命が起こり李承晩政権が倒れました。安保闘争も放つておけば日本の中立を招きかねないのを恐れました。

1959年の最高裁砂川判決によって安保条約の合憲と、安保条約改定によって、日本の米軍基地とそれを拠点とした米軍の軍事作戦活動は保障されたことで米軍は満足したのです。

この政策は30年後の冷戦終了後、アメリカの戦争に自衛隊の加担をふたたび求めるようになるまで続きました。そして日本に対して再び改憲の強い圧力を加えるようになります。(事務局 鈴木)

キリスト者九条の会 講演会

「平和の顔した天皇制」

(安全保障という植民地支配)

講師：星出卓也さん

(日本長老教会・西武柳沢キリスト教会牧師)

4月29日(金・休日) 午後1時30分

成美教育文化会館(大研修室・3F)

会費(資料代) ¥500

お問い合わせ

042-473-4496 岸まで(喫茶室アコルデ)

4・17 市民パレード

4月17日(日) 東久留米市役所まえ屋外ひろば
14:00 ~ 15:30 集会、市民からの発言
(13:30 オープニング) 集会後 西口中央公園までパレード



主催：戦争はイヤ！声を上げよう実行委員会
090-3815-7692 (松元)

詩「連帯と祈りウク ライナの障害のある 同胞（はらから）へ」

矢澤 健司（前沢）

NPO法人日本障害者協議会
代表の藤井克徳さんは自作の詩
「連帯と祈り ウクライナの障害
のある同胞（はらから）へ」を
ホームページ（www.jdnnet.gr.jp）
に発表されました。この詩はウ
クライナ語、ロシア語、英語
の翻訳を加え各大使館やマスメ
ディアに発信されています。

藤井さんは、都立の養護学校
（いまは特別支援学校）で教員と
して働いていらしたのですが、
障害者の社会的な地位を確立す
るため、退職してあさやけ作業
所を立ち上げ、きょうされんの
専務理事として全国的な組織作
り、現在は障害者権利条約、優
性思想問題等の運動に身を投じ
られています。

この詩の翻訳は藤井さんの教
え子が行いました。彼は、父親
の仕事、ジャーナリストの関連
で、幼少から小学生中学年まで

モスクワにいました。かつての
肢体不自由養護学校は、ポリオ
を中心にかなりの能力の高い子
がいました。彼は、早稲田を経て、
翻訳業に就いていました。自身
は脳性麻痺です。実質的に一日
でウクライナ語版、ロシア語版、
英語版を仕上げてくれました。

連帯と祈り ウクライナの障害のある 同胞（はらから）へ

戦争は、障害者を邪魔ものにする
戦争は、障害者を置き去りにする
戦争は、優生思想をかきたてる
大量の障害者をつくり出す最大
の悪、それが戦争

朝一番のニュースを恐る恐る
キエフの包囲網がまた狭まった
教会も文化財も悲鳴を上げて崩
れ落ちる
禁じ手が反古（ほご）にされ原子
力発電所から火の手

殺し合いでなく話し合いを
侵攻でなく停戦を
停戦でなく平和を

青い空と黄色の豊作に似合うの
は平和

私たちは祈ります
西北西の方角をじつとみつめな
がら
心の中から希望が切り離されな
いように
とにかく生き延びてほしい

戦争は、障害をたちどころに重
くする

戦争は、障害者の尊厳を軽々と
奪い去る

戦争は、障害者の明日を真っ黒
に塗りたくる

早いうちに、否、この瞬間に終
わらせなければ

もう一度くり返す

とにかく生き延びてほしい
たとえ、食べ物盗んでも
たとえ、敵兵に救いを乞うてでも

遠い遠い、でも魂はすぐ傍（そば）
の日本より

ふじいかつり（NPO法人
日本障害者協議会）

《平和を考える本》

『てぶくろ』

（エウゲーニー・M・ラチヨフ絵
／うちだりさこ訳）



福音館書店
1100円

雪の日、森を歩いてたおじい
さんは、てぶくろを片方落として、
そのまま行ってしまう。

そのてぶくろに、ねずみもぐ
りこみ、そこへ、かえるがやっ
て来て、「わたしも入れて」。

うさぎ、きつね、おおかみ、い
のしし、くまが次々にやって来て、
「わたしも入れて」「ぼくも入れて」

——みんな、ぬくぬくとてぶく
ろにもぐりこみます。

さて、てぶくろを失くしたこ
とに気がついたおじいさんは……。

なんともやさしいこのおはなし
は、ウクライナ民話のひとつです。
ロシアのウクライナ侵攻以来、「本
書のような世界を望む」との声が
高くなっています。（高田桂子）